

# 令和5年度 富山県 英語教育改善プラン

## 目標

外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする児童を育てる。（小中高連携を通して 小中連携100%）

### 1. 現状

#### 改善が進んだ点

①教師の指導力・英語力の向上  
【授業における、児童の英語による言語活動時間の割合】  
(R3)93.3⇒(R4)92.4%  
昨年度より若干下がったが、高い割合を維持している。

#### 未だ改善が必要な点

① 小・中・高等学校の連携  
【小中連携】目標100%  
(R3)55.8%⇒(R4)52.6%

### 2. 分析

①教員研修の充実  
平成27年度から、各小学校より1名参加の悉皆研修として、教員の英語力、英語指導力を高めることを目的に、大学教授等による講演会やワークショップを実施している。参加教員は、令和4年度を含めるとのべ約1,500人であり、これは富山県の公立小学校教員の約40%である。

①昨年度の研修で、小中高等学校教員が地域ごとに情報交換する場を設けたが、一時的な交流にすぎず、計画的で継続的な連携にはつながっていない。

### 3. 施策・事業

#### ①令和のとやま型教育推進事業

令和の時代に求められる教育理念の具現化と学習指導要領の確実な実施に資するよう、児童の「資質・能力」の育成のための市町村教育委員会における実践研究を推進し、その成果の普及を図る。

#### ①とやまグローバル人材育成促進事業

小学校教育研究会の研究推進校を研究拠点校に指定し、講師招聘等での研究支援や研究成果の普及を図り、教員の英語指導力の向上を図る。

#### ①とやまグローバル人材育成促進事業

昨年度同様、小学校教員対象の「小学校外国語指導力等向上研修会」、中・高等学校教員対象の「英語教員研修会」を実施する。研修会の日程と内容を調整し、学びの連続性を確認する研修内容とするとともに、地域ごとの小中高等学校教員の情報交換や交流の場を設け、それぞれの校区での連携につなぐ一助とする。

・教員採用選考検査小学校受検者においては、英語免許保有者及び一定の英語力を有する者への加点制度を設ける。

# 令和5年度 富山県 英語教育改善プラン

## 目標

外国語による言語活動を通して、簡単な情報や考え等を理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図ろうとする生徒を育てる。(小中高連携を通して 小中連携100%、中高連携80%)

### 1. 現状

#### 改善が進んだ点

①求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合の向上

(R3)43.8%⇒(R4)46.1%

②求められる英語力を有する英語担当教員の全英語担当教員に占める割合の向上

(R3)53.0%⇒(R4)54.7%

①②とも目標(①50%②55%)には達していないが、増加傾向にある。

#### 未だ改善が必要な点

①教師の指導力・英語力のより一層の向上

【授業における、英語担当教師の英語使用状況】目標90%  
(R3)62.4%⇒(R4)64.9%

②小中高連携の推進

【小中高連携】目標100%  
(R3)55.8%⇒(R4)52.6%

### 2. 分析

①授業改善の推進

言語活動を授業の中心に位置付け、英語を使用する場面を増やすよう、学習形態を工夫した授業が増加している。

②教員研修の充実

研修会等で、教員が英語を使用する機会を増やすなど実施方法を工夫し、意識の向上を図るとともに、機会を捉え、外部検定試験の特別受験制度について紹介するなど自己研鑽を推奨している。

①生徒への指示は英語で行う教師が多いが、言語活動の目的や言語の使用場面等を明確にした具体的な学習課題が設定されていない授業がみられる。

②昨年度の研修で、小中高等学校教員が地域ごとに情報交換する場を設けたが、一時的な交流にすぎず、計画的で継続的な連携にはつながっていない。

### 3. 施策・事業

①令和のとやま型教育推進事業

令和の時代に求められる教育理念の具現化と学習指導要領の確実な実施に資するよう、生徒の「資質・能力」の育成のための市町村教育委員会における実践研究を推進し、その成果の普及を図る。

②とやまグローバル人材育成促進事業

中学校教育研究会の研究授業発表校を研究拠点校に指定し、講師招聘等での研究支援や研究成果の普及を図り、教員の英語指導力の向上を図る。

①授業改善推進事業

授業改善推進委員の授業公開を通して、「授業は英語で行うことを基本とする」ことの趣旨の周知を図り、言語活動の充実と生徒自らが英語力を高めようとする主体性の育成を実現できる授業づくりを目指す。

②とやまグローバル人材育成促進事業

昨年度同様、小学校教員対象の「小学校外国語指導力等向上研修会」、中・高等学校教員対象の「英語教員研修会」を実施する。研修会の日程と内容を調整し、学びの連続性を確認する研修内容とするとともに、地域ごとの小中高等学校教員の情報交換や交流の場を設け、それぞれの校区での連携につなぐ一助とする。

# 令和5年度 富山県 英語教育改善プラン

## 目標

「指導と評価の一体化」を進めるための教師の指導力の向上と評価の改善  
 (【「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況 達成状況の把握】75%)

### 1. 現状

#### 改善が進んだ点

- ①小中高の連携  
(R3)81.1%⇒(R4)87.9%  
※英語教育実施状況調査
- ②ICT活用状況  
【ICT機器の活用状況及び  
具体的内容】  
(R3)48.5%⇒(R4)56.4%  
※英語教育実施状況調査

#### 未だ改善が必要な点

- ①CAN-DOリストの活用  
【「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備  
状況達成状況の把握】  
(R4)目標100%  
(R3)54.7%⇒(R4)63.3%  
※英語教育実施状況調査
- ②観点別学習状況の評価  
を含む評価の改善

### 2. 分析

- ①小中高合同研修の実施
  - ・同一のワークショップ・講義
  - ・近隣地域の他校種の教員との情報交換
- ②研究拠点校における研究実践と成果の普及
  - ・研修会における報告
  - ・報告書の全教員への配布

- ①・CAN-DOリストと考査や模試、検定による評価等が教員の中であまりリンクしていない。
- ・自らの経験等の主観的な指標による指導がなされている
- ②・英語科全体で評価方法の検討、振り返りがなされていない場合がある。

### 3. 施策・事業

- ①②以下の取組の継続  
英語・グローバル教育充実事業  
高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、各校で設定した学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る。
  - ・小中高合同研修の実施
  - ・研究拠点校における研究実践と成果の普及

- ①②以下の取組の継続  
英語教員研修会
  - ・評価に関するワークショップの実施
- 学校訪問
  - ・現場の状況把握と助言
- [留意点]
  - ・CAN-DOリストを活用した評価計画の重要性の共有
  - ・各学校の実情に合わせた評価方法を助言
  - ・多様な評価方法の具体的方策の提案
  - ・教員個人レベルの理解の促進